

平成25年度「日向市男女共同参画推進審議会」が開催されました。

男女共同参画推進審議会は、「日向市男女共同参画推進条例」に基づいて設置され、男女共同参画社会の形成の促進に関する施策及び重要事項を調査審議していただく市長の附属機関です。

平成25年度第1回日向市男女共同参画推進審議会が、平成25年11月27日（水）に開催されました。

**【第1回日向市男女共同参画推進審議会】**

■日時：平成25年11月27日（水）午後1時30分から午後3時20分

■会場：日向市役所2階 第1委員会室

## 会 議 録

会議の名称	第1回日向市男女共同参画推進審議会
開催日時	平成25年11月27日（水） 午後1時30分～3時20分
開催場所	日向市役所2階 第1委員会室
出席者	椎屋浩昭委員、直野あつみ委員、古小路健二委員、塩月智恵子委員、 沖田實美委員、植田幸男委員、疋田清美委員、切通伊都子委員、 林田憲子委員、山本実範委員、 事務局：市民協働課長、男女共同参画推進係長
議 題	「第4向日向市男女共同参画プラン」関連事業平成24年度施策実施状況 報告書について
会議資料の名称 及び内容	「第4次男女共同参画プラン」関連事業平成24年度施策実施状況報告書
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>■開会</p> <p>■会長あいさつ</p> <p>■市民協働課長あいさつ</p> <p>■議事</p> <p>◎「第4向日向市男女共同参画プラン」関連事業平成24年度施策実施状況報告書について</p> <p>会 長：事務局から資料の説明をしてもらった後、委員のみなさまの忌憚のないご意見をいただきたいと思う。</p> <p>※事務局より配布資料「第4向日向市男女共同参画プラン」関連事業平成24年度施策実施状況報告書について概要を説明。</p> <p>24年度実施事業より、「第4向日向市男女共同参画プラン」を実効性のあるものとするため、各課からの事業実施報告書に男女共同参画の視点にたった評価等を取り入れた。各課から提出された事業実施状況報告書に基づき、プラン体系「重点的に取り組むこと」別にまとめたものを、資料に沿って説明する。</p> <p>委 員：今回の報告書は、詳細に各課の具体的な取組みや課題等がでており、また、より具体</p>	

的に数字等が明らかに見えており、なかなか良いのではないと思われる。

委員：達成率等を含めて、各課からの報告を全部、公表するのか？

事務局：各課から提出された169事業の実施報告書を、見やすく取りまとめたものを、公表したいと考えている。

委員：4、5Pの男女共同参画配慮度の達成率について、前年との比較はできないか？

事務局：男女共同参画配慮度の評価を24年度事業から実施しており、前年の達成率がないため今回は比較ができない。25年度事業からは、24年度事業と比較ができるようになる。

委員：報告書について、今回、数字の評価、各課の課題、今後取り組むこと等を設けたということは非常にいいことで、今後さらに進んだ取組みができるのではないか。169事業が10の重点項目別に分かれて書かれており、非常にわかりやすく見やすくなっていると思う。

委員：13Pの女性の公職参加状況、「市職員の管理職登用率」について。

日向市の女性の登用率は、県内平均、全国平均と比べて高いのか、低いのか。

また、女性の登用について、目標を設定することは、男女共同参画の視点からいいことだと思うが、地位が高くなればなるほど辞退する状況があると聞いたが、状況的にどうなのか？

委員：県内平均は5.3%なので、県内平均よりは高いといえる。

事務局：審議会等の女性登用率については、プラン目標値を28年度までに40%で設定している。課長職からなる幹事会、部長職からなる行政会議において、各課が担当している審議会等の委員の選任については、女性の登用の推進を依頼したところである。

また、管理職の女性の登用については、以前、係長職の女性職員が数名退職した時期があったことから、管理職への登用にも影響したと考えられる。夫婦共働きとなると、女性の負担が増えがちなので、家庭内で助け合うことができればいいと思う。

委員：今回、市地域防災計画の作成にあたり防災会議委員40名のうち1名だった女性を2名に増員しているが、2名の女性委員ですごいと捉えるか、または、3.11の東北大震災後の防災計画の作成に、委員40名中せめて5名から10名ぐらいは、女性の視点が必要ではないかと捉えるか、だと思う。

男女共同参画社会づくりについては、男性の意識が変わらないといけませんが、女性も意識を変えていくことが必要だと思う。女性も会議等に参加して、意見を出して、お互いに日向市の住みよい社会づくりを考えていただきたい。「男女共同参画」と聞くと、「男性が、料理洗濯をしないといけない。」と捉えている人が多いのではないかと思う。「炊事洗濯子育ても、男性女性がひとりの人間として、それぞれができることを、お互い助け合っている。」「女性が強くなるのではない。男性にとっても、女性にとっても、住みよい社会になる。」ということ、わかりやすくPRしていくことが必要だと思う。

委員：最近、家庭、地域の絆が薄れてきているように思う。共働きの家庭が増えてきているからか、夜の8時ごろまで家の灯りがついていない家庭が多い。子どもは8時ごろまで何をしているのか？家庭が、成り立っているのか心配である。男女共同参画を推進していくことは、非常に大事だが、まずは家庭、地域での実態を踏まえたうえで、

推進してもらいたい。

委員：男女共同参画の一番の目的は、性差なく一人一人が幸せになるということである。男女という視点で考えがちだが、子どもからの視点というのが少ない、我々大人も男女関係なく考えていかないといけない。

委員：男性が、女性がということではなく、ひとりひとりが、それぞれの立場で関わっていく社会づくりなのに、「男女共同参画」という言葉自体が硬く感じると思う。生活していくために、どれだけたくさんの人の手を自分に引き寄せられるか、また、困っている人に手を差し伸べられるかが、日々の生活をしていくうえで大切かで、そこからあたたかい住みよい社会が、男女共同参画社会になっていくのだと思う。

また、女性の登用ということでは、自分が全てを背負って前へ出るというのはきつい。女性は妊娠出産という大きなことを経ており、女性は守りの人種だと思っているので、守るためには肩書を捨てられる。鎧を着こんで前へと出ていくのは、性として難しいものかなと、自分は思う。

委員：女性の就労について、宮崎県は女性が活躍できるM字曲線の落ち込み・くぼみが、全国平均からすると浅く、出産により仕事を辞めずに、両立ができていて、と聞いたことがある。その中で、保育環境もさることながら、祖父母との近居率が高いことが注目されていた。保育所に子どもを預けながら、子どもが病気の時には、近所に住んでいる祖父母が支援していくという形態が、理想的である。市でも、さらに、女性が働きやすい充実した環境をつくって欲しい。

委員：16P、目標数値で市民の講座の満足度、家庭経営協定締結農家数について、24年度と比較すると28年度が減っているのはなぜか？

事務局：それぞれ、28年度の数値はプラン作成時の目標数値で、24年度は実績である。すでに24年度は目標値を達成しているということである。

会長：他に意見がなければ、この報告書案で承認ということよろしいか？

委員：全員承認

■閉会